

事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

I 概況

平成23年度は、東北地方の大地震、大津波そして原発事故の3重苦に翻弄された一年と言っても過言ではない。加えて、南欧のデフォルトに対する警戒感から派生した歴史的な円高、株安傾向などが日本経済の足かせになっている。反面、震災復興需要や日銀の金融緩和策などへの期待感から一部景況感に明るさを示す向きもあるが、依然予断を許さない。

このような状況の中にあつて、当協会の主要事業である「ひょうごふるさと館」の販売実績は223,328千円と5年連続して2億円を上回るとともに、前年度比では104.4%と前年を上回る売上を上げた。これは、ひょうごふるさと館20周年記念事業の展開や、平清盛歴史館におけるひょうごふるさと館サテライトショップの開店、移動ふるさと館として各種イベント事業への積極的な出展、館内イベント開催等の販売戦略を展開した結果である。

さらに、名古屋の百貨店並びに各種催しものに出店するなど、県内外において県産品を販売、PRに努めた。

また、岩手県、宮城県、福島県被災地応援のため、当協会としては、初めて県外産品を扱う東北物産展を県内3地域、延べ18日間開催し、復興支援を行った。

次に、インターネット等による物産販売事業としての「ひょうごの特産品」、「カタログ販売事業等」、「エコポイント交換事業」を展開し、全国に特産品の紹介及び販売に努めた。

併せて、公益社団法人認定に向けた手続きを進め、3月19日付けで認定を得、平成24年4月1日付けで法務局への登記を経て「公益社団法人兵庫県物産協会」としてスタートを切った。

II 会員の異動状況

平成23年度は、入会の勧誘等会員の確保に努めたが、次のとおりの結果となった。

種別	前年度末会員数	年間異動状況		年度末会員数
		入会	退会	
一般会員	270人	4人	13人	261人
特別会員	55人	0人	0人	55人
賛助会員	1人	0人	0人	1人
合計	326人	4人	13人	317人

III 事業別実施概要

1 物産展開催概要

県内外に県内物産品の紹介及び宣伝を行うとともに、これを販売するため次のとおり物産展開催及び出展を行った。

物産展開催実績

開催地	会場	会期	出展業種等	備考
名古屋市	松坂屋名古屋店	H23.6.8~13	食品・工芸品 9社	四国・瀬戸内の物産と観光展
神戸市	神戸ハーバーランド	H23.10.15-16	食品・工芸品・ ツーリズム 14社	ふれあいの祭典 神戸ふれあいフェスティバル
豊田市	トヨタ生協 メグリア	H24.3.14~20	食品 2社	四国瀬戸内観光と物産展
合計	3催事・3会場	延べ15日	25社	—

※ひょうごふるさと館は移動ふるさと館として上記事業の一部に参加している

○東北物産展の開催

「岩手・宮城・福島被災地応援東北物産展」を県内3地域で開催し、被災3県の物産販売の支援を行った。

開催地	会場	会期	出展業種等	備考
神戸市	そごう神戸店地下 催事場	H23.5.24-30 H23.6.14-20	岩手県、宮城県、福島 県の特産品(菓子、食 品、)80種	そごうが、隣接会場で酒類、東北物産実演等を開催した。
姫路市	ヤマトヤシキ1階	H23.6.4-5	岩手県、宮城県、福島 県の特産品(菓子、食 品、)57種	ヤマトヤシキが、隣接会場で酒類の販売を行った。
宝塚市	宝塚ソリオ	H23.6.4-5	岩手県、宮城県、福島 県の特産品(菓子、食 品、酒)66種	宝塚市役所からのスタッフ派遣を得て運営した

2 県内物産の常設展示及び販売施設の管理運営

兵庫県内各地の特産品、村おこし産品等を収集、展示、販売し、広く県内特産品等の認識を高め、県下特産品業界の振興及び都市と農村との交流推進に努めた。

(1) ひょうごふるさと館

- ・設置場所 神戸市中央区御幸通8-1-26ケイエスビル(そごう神戸店新館)5階
- ・面積 181.5㎡
- ・出展会員数 210社 (対前年度 1社減)
- ・出展商品数 1,482品目 (対前年度 44点増)
- ・経緯 昭和51年5月 「兵庫の特産品展示室」開設
平成3年7月 「ひょうごふるさと館」に改称

平成 7年 3月	阪神・淡路大震災被害補修工事
平成14年 3月	2階から5階へ移転
平成17年 3月	陳列棚等改修実施
平成18年 2月	酒類販売免許取得
平成23年10月	開店20周年フェアの実施
平成24年 2月	冷凍冷蔵庫新設、陳列棚改修

① 平成23年度販売概況

平成23年度の販売実績は、前年度比104.4%と昨年を上回った。これは、長引く景気の低迷の中、会員及び出展者による日常的な魅力ある商品づくり、移動ふるさと館の積極的出展や館内イベントの充実、20周年記念事業等の展開した結果と言える。

事業別には「移動ふるさと館」として、ひょうごふるさと館サテライトショップを平成24年1月21日に清盛歴史館ショップ内にオープンするなどの効果で前年度比120.4%の増となったが、「館内イベント」では、前年度比99.8%と、前年額をやや下回った。

また、販売品種別では、民芸品は前年度比99.2%となったが、食料品が104.6%となった。このように、事業種別や販売品種別毎に補完しあいながら、販売実績を確保してきたものである。

ひょうごふるさと館展示販売の実績

区 分	平成22年度		平成23年度		対前年度比
	販売総数	一日平均	販売総数	一日平均	
販売額(円)	213,954,356	589,406	223,328,771	613,541	104.4%
販売点数(点)	399,588	1,101	412,172	1,132	113.5%
購入者数(人)	139,068	383	140,937	387	101.3%
販売日数(日)	363	—	364	—	—

◎20周年記念フェア

- ・商品10%割引の実施：(10月10日～19日の20日間及び11月から3月までの各20日)
- ・一定額購入者を対象にガラガラ抽選会を開催(10月10日～19日)
- ・プレミアム商品券(5,500円券を4,950円で販売)を初めて販売し、1,000冊完売した。

◎年末イベント

- ・12月1日から20日間に一定額購入者を対象にガラガラ抽選会を開催

② 移動ふるさと館事業

兵庫県及び関係団体が開催する県内外のイベント会場において、県内特産品の展示即売コーナーを開設する移動ふるさと館事業を実施した。

移動ふるさと館実施事業内容

会 期	事業名	会 場
H23. 5. 2	フォーレンダム歓迎行事	神戸ポートターミナル
H23. 6. 14	淡路会総会	六甲荘
H23. 6. 25-26	鹿児島観光物産展	JR鹿児島中央駅
H23. 7. 9-10	アジア陸上競技選手権大会兵庫・神戸大会	神戸総合運動公園駅前広場
H23. 10. 9	御堂筋 k a p p o	御堂筋（大阪市）
H23. 10. 22-23	ゆるキャラまつり in 彦根	彦根城周辺
H23. 11. 02	東京兵庫県人会	東京會館（東京都千代田区）
H23. 11. 5-6	ひょうごふるさと市	垂水駅前広場
H23. 11. 12-13	姫路食博(B-1 グランプリ)	姫路城三の丸広場
H23. 11. 19-20	神戸マラソン(天候不良につき19日午後から中止となった)	ポートアイランド市民広場横
H24. 1. 21-3. 31	ひょうごふるさと館サテライトショップ開店	平清盛歴史館(神戸市)

※販売額はふるさと館販売額に含む

(2) 本庁舎物産展示コーナー

本庁舎物産展示コーナーにおいて、伝統工芸品、グッドデザイン認定商品やひょうごの銘菓など、ふるさと自慢の産品を展示するとともに、あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン情報を提供した。

設置場所 神戸市中央区下山手通5-10-1
兵庫県庁1号館ロビー及び2号館1階と3号館の渡り廊下
(県政・県議会PRゾーン等)

展示品目 約73点(4ケース)

(3) 関西国際空港兵庫物産店

兵庫県、大阪府及び和歌山県の3県で協議した結果、平成23年9月末を以って、閉店した。

設置場所 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地
関西国際空港 旅客ターミナル3階「三彩」

面 積 35.37㎡

販売委託先 株式会社空港専門大店

販売概況 販売額は前年度同月比87.2%と年々低下傾向にある。この要因としては、JAL経営破たん等による減便、搭乗手続きの簡便化による立ち寄り客の減、ゲート内ショップの開設、昨年に引き続き機内持ち込み品の制限による買い控えなどが影響していると考えられる。

兵庫物産店「三彩」の実績

区分	平成22年度	平成23年度	対前年度比
販売額	21,037千円	9,947千円	47.3%
	(4-9月:11,414千円)	(4-9月:9,947千円)	87.2%

3 各種催物の参加事業

県内外で開催されたイベントに参加出展し、県物産の紹介販売を行った。

各種催物参加状況

会期	事業名	会場	出展社	販売額
H23.7.9-10	アジア陸上選手権大会 会場での物産展	神戸総合運動公園	食品4社	219千円
H23.11.2	東京県人会総会	東京會館	2社	177千円
H23.11.12-13	姫路食博(B-1 グランプリ)	姫路城三の丸広場	食品・工芸品2社	124千円
H23.11.19-20	神戸マラソン大会 強風のため19日午前 中で中止	ポートアイランド 市民広場	食品4社	15千円
24.1.21.-3.31	平清盛歴史館兵庫物産展	平清盛歴史館	—	5,476 千円
計	延べ77日、5会場			6,011千円

※販売額は一部ふるさと館販売額を含む

4 都市と農山漁村との交流事業

(1) ひょうごふるさと館におけるイベントの実施

館内のイベントコーナーにおいて、地域の商工観光団体及び商工業者等が特産品のPR及び販売と観光情報等を来館者に提供する事業を実施し、都市と農山漁村との交流を促進した。

区 分	平成22年度	平成23年度	前年度比
実施回数	206回	196回	95.1%
延べ日数	1,016日	1,000日	98.4%
販売額	44,821千円	44,771千円	99.9%

※販売額はふるさと館販売額を含む

(2) ふるさと発見バスツアーの実施

ひょうごふるさと館友の会会員等を対象に、県内の村おこし産品等を展示販売している施設(特産館、道の駅等)及び観光施設等を見学する「ふるさと発見バスツアー」を実施し、都市と農山漁村との交流を図った。

実施回数 4回 参加者 97人

<ふるさと発見バスツアー実施状況>

実施年月日	参加人員	目的地	訪問先等
平成23年4月10日	21名	北播磨地域	「多可町菜の花まつりと勾玉作り」 故郷工房夢蔵、菜の花まつり、ジェラテリア ふれっしゅあぐり館、那珂ふれあい館ほか
平成23年6月3日	28名	但馬地域	「保田先生の車内講座とひょうご安心ブランドめぐり」 夢大地、豊果アグリ、湯の原オートキャンプ場、 道の駅まほろば
平成23年10月 19日	36名	丹波地域	「黒豆枝豆狩りと恐竜化石発掘?体験バスツアー」 いちじま丹波太郎とおばあちゃんの里、こや ま園で黒豆狩り、恐竜化石発掘現場、上滝発電 所記念館、西脇温泉へその湯ほか
平成23年12月 14日	12名	丹波地域	「十割そば打ち体験&チョウザメのえさやり 体験」 赤花そばの郷、JA但馬ファーマーズマーケット たじまんま、内水面漁業センター
計 4回	97名		

(3) ひょうごふるさと館友の会の運営

友の会会員を対象として、ふるさと館事業の案内、各地域の特産品やツーリズム情報を提供し、都市と農山漁村との交流を促進した。

また、友の会会員に対し、特別割引販売を実施しリピーターの増に努めた。

5 インターネット等通信販売事業

(1) インターネットショッピングサイトの運営

事業開始から5カ年が経過し、ネット来場者への購買意欲を高めるため、中元、歳暮等シーズン毎のセール開催、新商品の登録、季節商品の登録、メルマガの配信、Yahooショッピング内の広告掲載等により新規及びリピーター客の確保にも努めたが、昨年度の実績をやや下回った。

区 分	平成22年度	平成23年度	前年度比
出 店 会 員 数	68社	66社	3社増、5社減
出 店 品 目	326点	311点	95.4%
販 売 額	5,053千円	4,742千円	93.8%
登 録 手 数 料	323千円	327千円	101.2%
広 告 掲 載 料	740千円	680千円	91.9%
販 売 点 数	2,348点	2,121点	90.3%
ネット来場者数	153,843件	144,790件	94.1%

購入者地域	全都道府県
イベントの実施	中元及び歳暮セール、栗・枝豆フェア、バレンタイン企画、ホワイトデー企画
特集サイト開催	匠の技、旬の食材等をトップページにて紹介
広告サイトの運営	トップページに広告枠を設置し活用
広報・広告の実施	ヤフー広告サイトの活用、アフィリエイトの活用、顧客へのメールマガジン発信、集客イベント等でのチラシによる広報等

(2) カタログ販売事業等

- ① 農業団体における関係者へのプレゼント事業に地域特産品の提供を受託し、地域別の特産品カタログを作成のうえ、関係者に配布し希望商品を届けるカタログ販売事業を実施した。

取扱点数：3,707点

- ② 結婚式の引き出物等として使われるアルバムギフトの「47都道府県ご当地名産特集」企画に参画し、販売を実施した。

出展点数：10点、販売実績：119点

(3) エコポイント交換事業

国が実施する、エコポイント活用によるグリーン家電普及促進事業及び住宅エコポイント交換事業に参加し、兵庫の特産品を全国にPRするとともに、

注文に応じ商品を全国に発送した。

	家電エコポイント	住宅エコポイント
登録点数	29点	29点
取扱い点数	581点	205点
販売額	5,001千円	2,154千円

- (4) 県各部局等が実施する事業での賞品、贈答品に県特産品を提案し採用されるなど、販路の拡大に努めた。

6 物産に関する情報の収集及び発信事業

(1) ホームページによる物産情報の発信

ひょうごふるさと館取扱商品及びネット販売商品の紹介並びに地域物産情報、特産品の紹介特集等情報量を各段に増やし、利用者に兵庫の特産品を知らせるとともに、販路の拡大に努めた。

(2) ツーリズム情報コーナーの設置

ひょうごふるさと館に設置している「ツーリズム情報コーナー」において、ひょうごツーリズム協会と共同して、県内の特産品や観光、イベント等に関するパンフレット等の配布により、来館者に情報を提供した。

(3) テレビ等によるPR

兵庫県のテレビ等の広報番組・紙媒体・インターネット情報提供及び他県広報での特産品紹介等、地域の特産品や村おこし産品をPRした。

7 出展助成事業及び事業後援

協会会員及び商工団体等が開催又は出展する展示会、見本市等の事業に対し協賛事業として助成を行った。

また、会員等が実施する物産振興等に寄与する事業に対し、後援を行った。

① 出展助成事業

助成団体数 3団体

助成金額 116千円

団体名	事業名	開催時期
西宮酒ぐらルネッサンスと食フェア実行委員会	第15回西宮酒ぐらルネッサンスと食フェア	H23.10.1~2
三木金物商工協同組合連合会	第55回三木金物展示・直売会	H23.11.5~6
財団法人北播磨地場産業開発機構	播州織総合素材展2012	H24.3.7~8

② 後援事業

後援件数 8件

- ・日本ケミカルシューズ工業組合 「くつつ子まつり」
- ・大国寺と丹波茶まつり実行委員会「第31回大国寺と丹波茶まつり」
- ・特定非営利活動法人兵庫セルプセンター「スイーツ甲子園」 ほか

8 県下特産館等との連携強化

当協会が開催する物産展示事業及びひょうごふるさと館の運営管理、村おこし
産品並びに特産品振興事業を効果的に推進するため、県下特産館等と調整に努
めた。